

こどもホタルンジャー活動平成 23 年度受賞団体概要

環境大臣賞 小学校の部 1、団体の部 1（中学校の部は該当無し）

【小学校の部】

刈谷市立小垣江 ^{おがきえ} 小学校 第 4 学年 「よみがえれ！小垣江ヘイケボタル」 (愛知県刈谷市、108 名、小学 4 年生) 昨年度優秀賞受賞
<p>「地元の川でホタルの幼虫が自然に育つために、自分たちができることは何だろう」という課題のもと、テーマ別のグループを作り活動。これまで実施してきたホタルの飼育・保護活動に加え、地域の環境保全へ目を向けた広がりのある活動に発展した点及び、祭りでの PR 活動や高齢者施設との交流を通じ地域とのつながりを深めた点が高く評価された。</p> <p>主な活動は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 6 つのテーマ別グループ活動（外てきつかまえ隊、水をきれいにし隊、えさふやし隊、自然ふやし隊、ゴミ拾い隊、水生生物調査隊）・ ホタルの飼育、折戸川、湧水池への放流、鑑賞会、祭りでの PR 活動・ 折戸川や湧水池の水質調査とその比較・ 学校、家庭、地域でのエコ活動（緑のカーテン、給食残飯ゼロエコ、ゴミ捨て防止チラシの配布等）・ 小垣江環境提言の作成活動・ 高齢者施設へのホタルの幼虫贈呈

【団体の部】

羊蹄山麓森あそび隊ホタルンジャー 「よく観察しよう、そしてよく調べ考えよう」 (北海道虻田郡倶知安町、54 名、小学 1 年生～中学 3 年生) 昨年度優秀賞受賞
<p>昨年度実施したホタルの幼虫放流による人工繁殖飼育の池に加え、放流をせず、自然繁殖を観察する池の二つのフィールドでの活動に発展した点及び、比較しながら観察、調査、考察し、外来種の植物駆除や光害防止のために植樹した木の手入れなど、大人と子どもが協力して、様々な取組みを実施した点が高く評価された。</p> <p>主な活動は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">・ ホタルの幼虫の飼育・ 「ソフトグランド下湿地」へのホタルの幼虫放流と観察、飛翔調査・ 「百年の森」でのホタルの自然繁殖の観察、飛翔調査・ 二つの池のホタル飛翔数の比較・ ホタルの池周辺の防光用植樹の手入れ及び新たな植樹・ 外来植物「オオハンゴンソウ」の駆除・ ホタルの池周辺の環境整備（小道の整備、橋の修理等）

優秀賞 小学校の部 1、団体の部 1（中学校の部は該当無し）

【小学校の部】

山口大学教育学部附属山口小学校 4年2組 総合学習ホタルエンジャー
「ゲンジボタルにとってすみよい環境を守るために今できること」
(山口県山口市、17名、小学4年生)

学校の敷地内でホタルが数匹飛んでいるのを見つけたことを発端に、学校内でゲンジボタルの卵を発見し、ゲンジボタルの新たな生息域を確認した点及び、ホタルがすみやすい環境について調べた科学的探究の方向性など、自主性・積極性に富んだ点が評価された。

主な活動は以下のとおり。

- ・学校内の環境調査（敷地内の水質調査とホタル生息条件の考察、水辺の生き物調査）
- ・ゲンジボタルの卵確認調査
- ・ゲンジボタルのすみよい環境の整備（ホタル自生域の周辺清掃、温度調整、土手や遊歩道の整備等）
- ・ゲンジボタル保護を呼びかける啓発活動

【団体の部】

松山町内にホタルを復活させる会
「ホタルを育てて復活させよう！」
(秋田県由利本荘市、23名、小学1年生～高校1年生)

松山町内にホタルを復活させることを目指し、5年間にわたり、ホタルの住みやすい環境の整備、参加家庭でのホタルの飼育と放流、詳細な観察の記録等を実施した点、及び就学前から高校生までの幅広い年齢の子どもたちと地域の大人が一緒になってほぼ毎月、継続的に様々な取り組みを実施している点が評価された。子ども達の成長に伴い、今後の発展も期待される。

主な活動は以下のとおり。

- ・家庭でのホタルの飼育、放流
- ・幼虫観察会
- ・環境調査（水質調査、水生生物調査等）
- ・環境整備、森林整備（草刈り、植樹、森林組合と一緒に森林整備等）
- ・ホタルの観察と詳細記録
- ・アンケート実施（ホタルの発見状況調査）

奨励賞 小学校の部 2、中学校の部 1、団体の部 1

【小学校の部】

田布施町立東田布施小学校

「ホタルがいっぱい！大波野おおはのの川」

(山口県熊毛郡田布施町、48名、小学5年生)

5年生の総合的な学習の時間の取り組みとして、ホタルの飼育や川への放流活動、水生生物調査を実施し、ホタルについての知識を深めるための課題を決めて調査・学習した点が評価された。ホタルを良く観察して、子どもらしいイラストを使用したレポートを作成しており、ホタルの餌となるカワニナの命についても気づいた点に今後の活動の発展性を感じる。

主な活動は以下のとおり。

- ・校庭のホタル小屋でのホタルの飼育
- ・大波野の川への幼虫の放流
- ・課題を決めたホタルの調査・学習（ホタルの種類、オス・メスの特徴、ホタルの光る仕組み、ホタルの一生、ホタルの食べ物と与え方、ホタルの敵）
- ・川の清掃
- ・水生生物調査

【小学校の部】

たつの市立小宅おやけ小学校5年生

「人も自然も笑顔いっぱい～集まれみんなの小宅大好き自然村～」

(兵庫県たつの市、144名、小学5年生)

地域の山根川の清掃活動を手始めに、その後、荒れ地をミニ広場やビオトープに変える活動により、ホタルの復活につなげた点及び、ホタルだけでなくアキアカネの復活に向けた活動により産卵までこぎつけた点が評価された。地域の人がミニ広場を利用するなど地域の明るい雰囲気をつくっていくプロセスに今後も期待できる。

主な活動は以下のとおり。

- ・山根川クリーン作戦（毎月2回のゴミ拾い、藻の除去等）
- ・ミニ広場やビオトープ（トンボ池）の構築
- ・ホタル復活作戦（飼育、幼虫の放流）
- ・山根川の生き物調査
- ・いかだ遊び、紫黒米作り（川とのふれあい、水の利用）
- ・アキアカネ復活作戦（人工産卵、放流）

【中学校の部】

広川町立津木^{つぎ}中学校 総合学習ゲンジボタル研究班

「ホタルを支える生態系の解明」

(和歌山県有田郡広川町、21名、中学1年生～中学3年生)

全校生徒数21名という少人数でありながら、広川地区の水質調査を含め幅広い生態調査を継続的に丁寧に行い、調査結果の経年変化をとりまとめている点及び、地域への情報発信について広報用パンフレット「津木中ホタルナビ」の作成・配布など工夫している点が評価された。ホタルの定点生息数の把握方法について、もっと精度を高めれば、更に良い調査となることが期待できる。

主な活動は以下のとおり。

- ・ゲンジボタルの定点生息数調査と成虫・幼虫の生態研究
- ・ホタルの幼虫飼育、放流
- ・ホタル保護の看板設置、「津木中ホタルナビ」等による情報発信
- ・水質調査等によるホタルの生息に適した環境の研究及び研究成果の発表
- ・過去12年間のホタル数の推移とりまとめ

【団体の部】

千曲市立あんず保育園 ホタレンジャー

「わたしたちのまわりには、小さいいきものがいっぱいいるね」

(長野県千曲市、70名、1才から6才の保育園児)

保育園児が、ホタルの観賞から飼育、放流、ホタル川の清掃活動など、年齢に応じて活動している点及び、「生き物いっぱい教室」を通じ、地域の方と交流を深めている点が評価された。幼児期から環境教育に取り組み、今後も継続されていくことが期待された。

主な活動は以下のとおり。

- ・家族と一緒にホタル観賞会
- ・ホタル川の清掃活動
- ・ホタルの幼虫飼育、ホタル川への放流
- ・生き物いっぱい教室での体験学習